

令和3年度定時社員総会議事録

一般社団法人静岡県建設コンサルタント協会

1 開催日時 令和3年4月16日(金) 10時30分～11時30分

2 開催場所 中島屋グランドホテル 4階カトレア

(静岡市葵区紺屋町3-10)

3 現在正会員数及び定足数 現在数36名 定足数18名

4 出席正会員数 36名(委任状提出6名を含む。)

・出席理事 森崎祐治 芹澤秀樹 服部剛明 藤山義修

齋 秀之 浅岡論志 小田秀昭 蓮池康彦 牧田敏明

・出席監事 杉山 博 小田稔彦

5 決議事項

(1) 第1号議案 令和2年度事業報告について

(2) 第2号議案 令和2年度収支決算について

(3) 第3号議案 令和3年度事業計画(案)について

(4) 第4号議案 令和3年度収支予算(案)について

6 会議の概要及びその結果

(1) 開会

開催予定時刻である10時30分に、司会の服部副会長から定時社員総会の開会が宣言された。

(2) 定足数報告

服部副会長から、本日は正会員36名(うち委任状出席者は6名)のうち、全員となる36名の出席を得ているため、定款第20条の規定に基づく総会の定足数を充足しており、総会が成立している旨の報告が行われた。

(3) 開会の辞

芹澤副会長から開会の辞が述べられた。

(4) 会長挨拶

森崎会長から挨拶が行われた。

(5) 議長選出

服部副会長から、定時社員総会の議長については、定款第19条の規定では、「会長が、これにあたる」とされていることが告げられ、森崎会長が議長席に着いた。

(6) 議事録署名人選出

議長は、議事に先立ち議事録署名人の選出を行った。

議長からは、「定時社員総会の議事録署名人については、定款第22条の規定では、議長及び出席した理事が議事録に記名押印する」とされていることが告げられるとともに、関係者に対して議事録作成後の記名押印への協力が依頼された。

(7) 議案審議

〈決議事項〉

① 第1号議案「令和2年度事業報告について」

② 第2号議案「令和2年度収支決算について」

議長は、第1号議案及び第2号議案の一括説明を事務局に求め、石原事務局長から議案の説明が行われた。

石原事務局長からは、第1号議案に関して、法人の管理運営に係る総会、理事会、監事監査の開催状況、法人に設置された3委員会、6部会における事業の実施状況、行政機関等への協力事業の実施状況について説明があった。

なお、令和2年度事業の総括として、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、定時社員総会を「決議省略」の方法に変更して実施、技術研究発表会や新年賀詞交歓会を中止とするなど、計画された事業を予定通りに進めることが出来ず、難しい法人運営を強いられた1年であったとの補足説明があった。

また、第2号議案に関して、収入については、会費収入、事務委託料、賃借料収入などにより当初予算での見込額を確保できたが、支出については、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮して多くの事業を中止、縮小したことから、当初予算の執行率は、令和元年度の93%を12%下回る81%程度に止まり、このことの影響を受けて翌年度への繰越額が例年に比べて大幅に増加（前年度比186%）し、346万円余になったとの説明があった。

その後、議長の求めに応じて、杉山監事、小田監事から監査報告が行われた。

両監事からは、「令和3年4月9日、令和2年度の事業の報告を聴取し、業務及び財産の状況を調査した結果、事業報告書、決算報告書共に、正確で適正に処理されており、理事の職務執行に関しても法令もしくは定款に違反する重大な事実はない。」との説明があった。

また、杉山監事からは会計関係（収入、支出）の書類については明確に整理され、適切な経理処理がなされているとの補足説明も行われた。

議長は、両議案について出席した正会員に意見、質問を求めたところ特に発言はなかった。

その後、両議案の採決が行われ、満場一致で原案どおり可決承認された。

③ 第3号議案「令和3年度事業計画（案）について」

④ 第4号議案「令和3年収支予算（案）について」

議長は、第3号議案及び第4号議案の一括説明を事務局に求め、石原事務局長から議案の説明が行われた。

石原事務局長からは、第3号議案に関して、令和3年度の事業執行に関する基本方針、法人の管理運営に関する事業、委員会、部会の事業及び行政機関等への協力事業について、年度内における事業計画の概要説明があった。

また、第4号議案に関して、収入については、事務局職員の退職給与手当支給に係る積立預金取崩収入の新規計上及び前年度からの繰越金収入の増加により、全体予算額が前年度の1,648万余円に比して410万円余増額の2,059万円となったこと。また、支出についても、業界PR、受注拡大等を目的とする広報冊子作製費170万円及び事務局職員退職給与240万円などを計上したことにより、収入と同様に全体予算額が増加したとの説明があった。

なお、予算の執行に際しては、経費節減に配慮するとともに、新型コロナウイルス感染拡大や大規模災害発生などの社会経済情勢を見極めながら、適切・効果的な執行が図られていくよう努めていく旨の補足説明があった。

議長は、両議案について出席した正会員に意見、質問を求めたところ特に発言はなかった。

その後、両議案の採決が行われ、満場一致で原案どおり可決承認された。

議長は、以上をもって定時社員総会の全ての議案の審議が終了したことを宣言し、議長職を辞した。

(8) 閉会の辞

藤山副会長から閉会の辞が述べられた。

(9) 閉会

16時50分、服部副会長から定時社員総会の閉会が宣言された。

7 その他

総会の開催に先立ち、服部副会長から正会員の代表者4名に変更があったことを出席者に知らせるとともに、当日の総会に出席した新たな代表者3名が紹介された。

その後、紹介された(株)ツルタコンサルタントの鶴田淳氏、(株)大場上下水道設計の大野健太郎氏、吉田測量設計(株)の石野直之氏から挨拶が行われた。

上記の決議を明確にするため議事録を作成し、定款第22条第2項に基づき、議長及び出席した理事が記名押印する。

令和3年4月16日

議長・代表理事 森 崎 祐 治

理 事 芹 澤 秀 樹

理 事 服 部 剛 明

理 事 藤 山 義 修

理 事 齋 秀 之

理 事 浅 岡 論 志

理 事 小 田 秀 昭

理 事 蓮 池 康 彦

理 事 牧 田 敏 明

議事録作成に係る職務を行った者

事務局長 石 原 敏 男